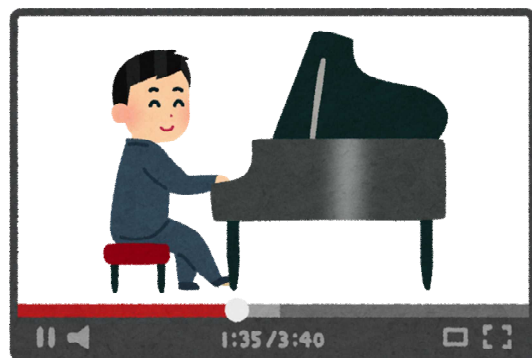


音楽室だより

音楽室便り No.3
令和2年5月25日発行
中野区立中野本郷小学校
校長 柳沢 晶子
音楽専科 小田 康介

先週は、先生たちから皆さんへのメッセージ動画が、学校HPに掲載されました。先生は「音楽室だよりNo.1」に書いた、GWに練習したピアノの演奏を披露しました。あまり上手には弾けていませんが、よければ聴いてください。



さてHPに掲載した今週の課題について、以下にまとめてみました。今週も、よく読んでから取り組んでみてください。

① AI(人工知能)に負けない力を身に付けよう

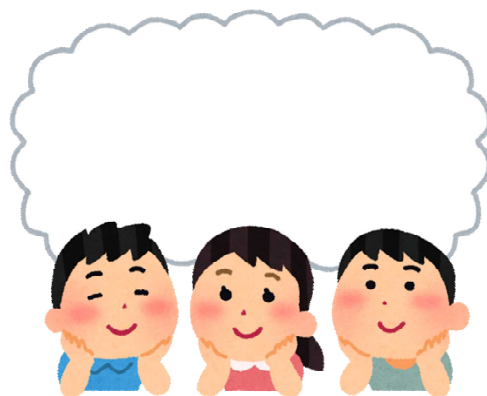
いま小学生の皆さんが大人になるころには、今以上にAI(人工知能)が使われるようになり、いまある仕事の多くを人間の代わりにやってくれるようになると言われていています。逆に言うと、AIにはできない力を身に付けることが大切となるわけです。

そこで今週の「**音楽ワークシート**」は、先週までに学習した「**共通教材**」について、楽譜を手がかりに、曲の特徴を見つけながら

- 自分が好きなおとこ、気に入ったところを選ぶ
- なぜ、そこが良かったのか理由を考える
- それを歌で伝えるためにできる工夫を考える

といった「**自分で考える**」ことを中心に作りました。こうした、考えたり工夫したりするのは、どれもAIが苦手とする内容だからです。

本当なら学校で、みんなで考えながら学習する内容なので、ちょっと難しく感じるかもしれませんが、ぜひ取り組んでみてください。



♪おまけ♪

ちょっと面白い動画を見つけたので紹介します。曲はベートーヴェンの交響曲第5番「運命」、こんな音楽の感じ方もあるんだなと思いました。



② 「なぞとき音楽ドリル」と「五線譜」について

今週の「なぞとき音楽ドリル」は、ドレミの読み方に入りました。これまでと同じように、パズル感覚で楽しく取り組みながら、読み方を覚えてもらえたらなと考えて作っています。

ただし「楽譜の読み方が分かる」というのと、「楽譜を見ただけでスラスラ読める」というのは、ちょっと異なります。このドリルは、「読み方が分かる」ようになるのを目的に作っているので、「スラスラ読める」ようになりたい人は、九九を覚えるように何度もくり返し読む練習して、慣れるしかありません。



教科書や歌集「歌はともだち」の楽譜に、ドレミを書いてみるのも1つの方法ですが、もっと知りたい、やってみたいという人のために、いくつかHPを紹介します。どれも無料ですので、よければ試してみてください。(音楽帳は5/31までの期間限定)

KAWAI
音楽帳 6

HPリンク



ちびむす
ドリル

HPリンク



Note Naming
Sheets

HPリンク



③ 「プログラミングで音楽づくり」と「音楽記号」

先週の「プログラミングで音楽づくり」では、音符や休符の長さや音の高さを、数字に置き換えてプログラムすることを学習しました。また今週は、4年生や5年生で学習する「くり返し記号」を、スクラッチではどうプログラミングしたらいいかを取り上げました。

どちらが分かりやすいかは人それぞれだと思いますが、同じことを「プログラミング」と「音楽記号」それぞれでやってみることで、だんだんどちらも分かるようになるはずです。



まずはプリントの通りにやってみて、うまく行かなかったら何が間違っているのか、プリントをよく見て確かめてください。コンピュータは、入力した通りにしか動いてくれません。思うようにいかない時は、必ず何か間違いがあります。(先生も、たくさん間違えました)

うまくできたら、今度はそれを使って、自分なりにいろいろコードをアレンジしてみてください。自分の思った通りに動かせるようになると、なかなか嬉しいものですよ。